

<1. 学校としてまとめた対応策>

ワシントン(DC)

- ・遠隔授業の可能性を探っている。

幼稚園……………難しい。(新1年生も同様)

小学部……………下学年：学習課題とワークシート等を配布し、返還された課題の添削等

上学年：学級を4つに分け、30分の講義（質疑を含む）→一人学習→課題の提出

中・高等部…30分の講義→一人学習（課題解決：質問はZOOMまたは電話で）→30分の解説

ベルリン中央学園(BER)

- ・今年度の国語クラス担任が宿題を郵送またはメール添付による送付で対応。

① 既習漢字および文法事項の復習となるドリルやプリント等

② 読書マラソン（本校独自の読書推進プログラム：子どもは読んだ本の内容、感想を書いて提出→冊数を累計し年度末に表彰）

チューリッヒ(ZUR)

・配付するはずだった宿題については、副教材は（教科書ワーク）郵送。プリント類や音読の範囲は、今回に限りクラス代表を通じてメール添付で送った。

ピッツバーグ(PIT)

・休校が長期間に及ぶ場合は、遠隔で指導していく方向。遠隔指導の方法としては基本的には講師が保護者に指導ポイントを書いて課題を与える方法で。それに加えて週に1回はオンライン会議で画面越しにクラスが顔を合わせる時間を設ける予定。

サウスカロライナ(SC)

- ・教室を借用している州立大学がこの春学期を全てオンライン授業へ切り替え。
- ・夏学期もこのままになると十分考えられるため、補習校でもオンラインでの補助学習を検討。
- ・通常授業に戻るまでは、家庭学習（自習）がメイン。
- ・教案、教材などは前もって保護者にメール添付でお送りし、補習校の時間割とほぼ近いスケジュールで在宅学習をしていただき、補足としてオンライン授業を行う。

ポートオブサクラメント(POS)

・オンライン・通信利用で課題（宿題）を週1回出す。副教材（今後到着予定）の採点や漢字練習の確認は保護者に依頼。

・週一回、1時間から1時間半程度、Zoom（無料版）を利用してみる予定。

・学校の新学年開始は当初4月4日の予定から18日に後ろ倒し。18日からオンライン授業開始。その間にできるだけ、同じ家庭のきょうだいが完全に重ならず、土曜日に2時間弱程度のオンライン授業が可能となるよう、きょうだいのいる学年を確認し、時間割を調整。

- ・低学年は、オンライン授業は少人数グループ（7人程度）に分けるなどしての対応を検討中。
- ・全学年対象に4月末、保護者・児童生徒からヒアリングをし、対応を検討・確認する。
- ・理事会が、各家庭とオンラインのテスト・ミーティングを実施。
- ・使用校舎の大学が夏まで閉鎖される可能性を踏まえ、前期の通知表はつけない。（pass/failのような形になる可能性）

コロラド(COL)

- ・コロラド州の方針に沿って、4月上旬までは当校も完全休校とし、4月上旬の休校期間については、遠隔授業等の対応は行わない。
- ・しかしながら、現地校の休校期間が更に延長となる可能性が高まっていますため、4月中旬からは遠隔授業と家庭学習の組み合わせで新年度の学習をスタートできるよう、教職員皆で準備調査を開始。

- ・講師の先生との確認（中部テネシー校長）(TEN)

1. 次週の土曜日までの課題を（第1回目は4月11日（土曜日）に）以下のような形でホームページの各学年学級の部屋に掲載します。

(1) 今週の学習計画・振り返り表

1週間でやる学習のねらい、学習内容、ドリルの内容と量を示したものに「今週の学習の振り返り」記入欄のあるもの。

※ 年間学習指導計画を参考に作成する。（精選、焦点化）

※ 学習内容の中には積極的に各方面のウェブサイトの関連内容の視聴も取り入れる。

※ 学習振り返り反省欄の記入は、児童生徒、保護者どちらでも記入可（学年の実態に合わせる）保護者のサインをお願いします。

(2) 今週の学習内容に沿った学習プリントや課題

添削、個別指導用に実施教科の1週間分の学習内容をまとめた学習プリントを作成する。

※ 各教科レター用紙1枚分ぐらい。 作文の提出でも可。

2. 保護者または児童生徒は、担任から個別指導を受ける前日の午前中までに、(1)および(2)をPDFまたは写真メールで担任宛に直接送る。

※ 担任及び担当の先生は、個別指導する保護者や子どもと相談の上、個別指導の日時とそれに合わせて課題の提出期日を決めておいてください。

3. 週に1回（必要であれば回数が増えても構わない）は、上記の(1)と(2)の提出物を確認しながら子どもに個別指導を行う。

※ 個別指導のあり方は、最低限、声でのやり取り（電話など）をお願いします。

※ 形態は、中学部以上ではスマフォ等を使った何人かでの対面授業のような形も可能だと思います。ただ、先生方同士や生徒・保護者間で不公平感が出ないような配慮と共通理解をお願いいたします。

グリーンビル (GRV)

- ・差し当たって4月いっぱい(4回)は、原則として授業時間は家庭学習をする
- ・4時限分の学習スケジュールとその週の宿題をリストにして、土曜日朝までに先生が保護者宛メール配信。テストやワークシートなども添付する。テストや、国語の作文等先生が採点や評価したほうが良い課題は、スキャン/Pdfで提出するよう指示。
- ・短時間のウェブミーティングについても検討中。幼稚部(年長組)のみ園児と先生との顔合わせも併せて今週から取り入れる予定。

ダラス(DAL)

- ・補習校と家庭を結ぶプラットフォームとして、Google クラスルームの運用を開始。
- ・Zoom を使用し、補習校と家庭の双方向のやり取りが可能な授業も検討中。
- ・4月11日(土)本来であれば入学式・始業式だが、校舎使用不可。リモート授業開始。
Google クラスの設定と動作の確認、副校長先生新年度の挨拶(録画)
各担任がクラス児童へ向けて挨拶(録画)、各教科の課題と宿題の掲載(録画、PP資料、動画、ワークシートなど)
- ・4月18日(土)引き続き校リモート授業の予定
Zoom を使ってホームルーム、各教科の課題と宿題の掲載(録画、PP資料、動画、ワークシートなど)
- ・4月25日(土)以降 未定